



編集・発行／日本共産党伊勢崎市議団 〒372-0032 伊勢崎市北千木町 2087 TEL25-4854/fax24-8204
ホームページ www.icp-isesaki.net/ メールアドレス sigidan@icp-isesaki.net

待ったなし！「子どもの貧困」対策

定例会が6月10日から6月27日まで開かれ、長谷田公子市議が一般質問し、北島元雄市議が元市幹部職員逮捕への対応などについて質疑しました。

「貧困の連鎖」断つ学習支援 党議員団の要望で前進

昨年4月に施行された生活困窮者支援法では、「貧困の連鎖」を断ち切るため、困窮世帯の子どもに対して広く学習支援を行うよう自治体に求めています。

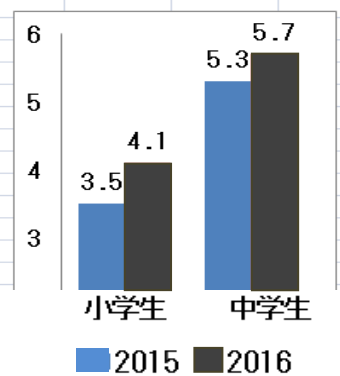
伊勢崎市では、党市議団の要望もあつて、昨年度から学習支援員を2人に増員。主に生活保護世帯で、希望する子どもや保護者に家庭訪問や面談で支援

を行ってきました。

支援を受けている子どもの数は昨年度29人、今年度17人とまだ少数ですが、中学3年生は全員高校に進学。特に今春は、全員が全日制高校に進むことができました。

長谷田市議は、「効果が明らかかな学習支援員を増員し、お金が無くて塾に行けない生活困窮世帯の子どもたちまで対象を広げて。市の責任で、無料塾の開設検討も。」と、さらに提案しました。

伊勢崎市の就学援助
受給状況（％）
（4月1日現在数）



今年度は昨年度より、申請件数で140人、受給者数は88人増え、改善の成果が表れている。

基準公表で受給児童・生徒増 就学援助の一層の改善を

就学援助は、市町村が義務教育にかかる様々な費用を援助する制度です。

子育て世代にも非正規雇用が増え、「格差」と「貧

困」が広がり、受給率は、一昨年度は全国平均で15・6％、6人に1人の上りました。県内平均は6％程度ですが、伊勢崎市は小学生3・3％、中学生4・93％と、とりわけ低い状態でした。

経済的な事情で修学旅

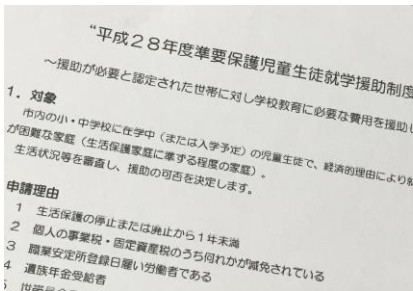
この結果、今年度は昨年度より、申請件数・受給者数ともに増えました（右グラフ参照）。

引き続き、具体的な改善を求めて行きます。

党議員団は、「適切な認定基準を定め、公開するように」と提案し続けてきました。今春ようやく実現し、基準の具体例を載せた制度案内が全ての子どもに配られました。

また、必要な子どもが全て受給できるよう改善を求めたところ、「制度案内と申請用紙と一緒に配るなど、工夫したい。」とのことでした。

また、必要な子どもが全て受給できるよう改善を求めたところ、「制度案内と申請用紙と一緒に配るなど、工夫したい。」とのことでした。



全児童・生徒に配られた
就学援助の案内文書